



見上げた夜空に輝く月—— いつでも月見はできますが、
十五夜（中秋の名月）の月見は特別。
9月21日（火）の夜、空を見上げてみませんか。

学童クラブでひょうたんライト教室（日本各所で333ヶ所目）

スダプランニング代表 須田 芳己

たかがひょうたん、されどひょうたん。
ピッコロさんとのご縁のなかで、2021年8月17日～19日の3日間、
梅園学童クラブの児童向けに、ひょうたんライト教室を開催しました。
ひょうたんを使ったライト作りという【体験活動】を通して、きっと
児童たちは社会を生き抜く力を身につけ、明日を照らす光の道しるべとして
明るく朗らかに育ってくれると信じていまーす♪



子どもたちにとっては『ひょうたん』を初めて見て触れる子がほとんど
で、興味・関心もあってか各日およそ2時間、集中を切らさずに没入感たっ
ぷりの時間となりました。

梅園学童クラブの児童作成
ひょうたんライト

まず、ひょうたんとは何か？ほとんどの人は『ひょうたん』という言葉は知っていても、答えら
れる人もなかなかいないし、そんな会話の機会もなかなか無いと思います。

原産国はアフリカで、日本では一番古い栽培植物だと考えられています。およそ一万年前から存
在している説が濃厚です♪水や穀物などの容器入れから楽器やおもちゃなどなど、様々な用途や種
類の変化に富み、人類とともに歴史を歩んできました。まさにひょうたんダイバーシティです♪そ
んなひょうたん談義を一時間もの時間、飽きずに聴いてくれた児童たちには驚きました。

さて、そんな多様性たっぷりのひょうたんの中から自らひとつを選び、思い描いた下絵にプスプ
スと穴を開け、無我夢中になってランプシェードを完成させていきます。

ひょうたんライトづくりの面白いところは、自然のものなので二つとして同じ形がないところ、
さらには加工しやすいところ。穴をあける以外にもビーズをはめたり、切り込みをいれたり、チャ
ームかけたり…可能性は無限大なのです！

無論、思った通りに仕上げる児童もいれば、悩みながら作業する児童もおり、それぞれの満足度
は様々だったかと思いますが、世界にひとつの作品が仕上がりました。ひょうたん談義に加えてさ
らに一時間以上、制作作業に没頭できる児童たちにはひょうたんだけに「驚嘆」しました♪

水分補給や換気の休憩をいれながら、談義&制作を含めた2時間のプログラムに参加者全員だれ
ひとりも臆することなく全集中…。

ギブ・アンド・ギブナー、与え与えられる関係のなかで、きっと子どもたちは社会で求められる
仲間とのコミュニケーション能力や自立心、主体性、協調性、チャレンジ精神、責任感、創造力、
異なる他者と協働する能力等を育てていけると思います。

こんな社会だからこそ、先に生まれた大人たちが安全安心を担保のうえ、未来を託す子どもたち
に向けて、多くの人と関わりながら【体験活動】を積み重ね、「社会を生き抜く力」として必要とな
る基礎的な能力を養う機会を提供し続けられればいいですね。

そう、NPO 法人子育てネットワークピッコロさんならきっとできますよー☆彗



責任者会議報告

引続きご協力ください

8/20、今年度初めての責任者会議をオンラインで実施しました。

「コロナ感染症について、今はできる対策を行い、乗り切る。誰かが感染することはゼロではないが、拡げないようにしていこう。」という理事長の挨拶を皮切りに、各事業から報告していただきました。

一時預かりは、里帰りできない等で市外の入会が多くなっていること、4月からスタートした学童クラブの状況報告と、コロナ感染対策をしながらの活動の報告がありました。

ピッコロルームから出していただいたヒヤリ・ハットから転倒と口に入れて歩く子どもに注意しようという点について、訪問保育や広場運営においても参考になりました。また、ファミリー・サポートきよせからヒヤリ・ハット・レポートを記入することは何か悪いことをして反省文を書くようなイメージを持ってしまいが、「ペナルティーではないよ、他の方の活動に役に立つこと」として、支援者の皆さんにお伝えし、記入に協力をお願いしていきたいということがあがりました。各事業で活かしていきます。

会員の皆さまには感染対策にご協力いただき、心から感謝いたします。

引続き安全チェックリストを使用しての活動を継続してまいります。市内においても20歳未満の感染は、7月に比べ8月は2倍以上の数になっており、学童クラブや保育園等の預かり施設が休園やクラス閉鎖期間は、当法人の保育の利用はできません。つどいの広場のご利用もお控えください。

ご不便おかけいたします。

皆さん、K-net はご存じですか？

K-net(清瀬子育てネットワーク)は、2001年のアイレックまつりで当法人が提案した子育てシンポジウムをきっかけとして、「気軽に親子で行ける場がほしい」「いつでも好きな時に行ける場がほしい」という声があがり、地域で子育て中の人たちと、その声を受け止めようとする人たちが手を取り合うことで発足しました。

アイレック(清瀬市男女共同参画センター)の会議室を当時のセンター長であった菊地靖子さんが会場として提供していただき、子どもを真ん中に遊ばせながら『私たちの居場所づくり』について話し合い、月に1回10時～14時開催。時間内ならいつ来てもいつ帰っても良いひろば。子どもを先輩ママが預かり、15分だけ子どもと離れて挽き立てのコーヒーが飲めるひろばをみんなで運営することを決めました。行政(男女共同参画センター・子育て支援課・健康推進課・図書館)とのつながりを持ち、さらに市民のネットワークと連携することで、2002年第1回「子育てひろば」を開催しました。

そして、子育て情報を発信しようと『K-net ニュース』の発行も始めました。

毎月、70～80組の親子が参加していることを知った子育て支援課の課長さんが視察にいらして、2004年からは市の事業として当法人が委託を受け、運営を行っています。

このK-net 子育てひろばの開催がきっかけで、2006年11月に元町つどいの広場と竹丘つどいの広場の開設につながりました。

K-net ジュニア子育てサポーター養成講座って？

2004年の夏休みからスタートし、その後、毎年7月末に、小学4年生以上を対象として、K-net ひろばでの実習を行っています。養成講座を始めたのは、その頃、きょうだいがいない家庭も多くなる中、子どもたちが赤ちゃんや小さな子とふれあう大切さを感じていたことと、小さな子はお姉さん・お兄さんが大好きだからです。教育委員会のご協力で市内全校に案内チラシを配布できるようになり毎年50名の受講があり、修了した子どもたちは、「K-net ジュニア子育てサポーター」として、市内5箇所のつどいの広場などでボランティアの活動が出来るようになります。

今年は、7月29日（木）に子どもの成長などを学び、7月30日（金）のK-net ひろばとつどいの広場で、参加した親子と一緒に遊びました。コロナ禍のため、講座の定員を縮小して開催しました。

K-net ひろばやつどいの広場は入室の制限があるので、なかなかボランティア活動は出来ない状況ですが、今年も受講者の中に、過去に親と一緒に広場を利用していた子どもたちが応募してきてくれました。

念願の講座に参加して

西川暖真母

小さな頃、毎日のようにつどいの広場にお世話になっていた息子。4年生になったら絶対ジュニアサポーターになって小さな子と遊ぶんだと常日頃言っていました。そして、今回、活動する機会を与えていただき、大喜びでした。実習に行く日も「あと何日。」と指折り数え待ち遠しいといった感じてました。

実習の日は、「疲れたけど、楽しかった。」とニコニコしながら帰宅しました。電車が好きな3歳の子と遊んだこと、もっと小さな子ともふれあったり、遊んだりしたかったことなど次々と出てきて充実した時間だった事がよく分かり、親としてもとても嬉しくなりました。

「修了証ももらったから絶対行く！」「ひとりでもひろばに行く！」と意気込んでいます。(笑)

最後に、このような状況下で開催していただき、ありがとうございました。息子にとって、とても有意義な時間をすごさせていただきました。



子どもの成長や赤ちゃん人形の体験をしての感想

- 今日は赤ちゃんの成長するときを知って、イヤイヤがあることを知ったり、赤ちゃんの抱っこのかたがいろいろあることも知れて、もっといろいろなことを知りたいと思いました。それに赤ちゃんが自然にわらってくれたりするのが、私にとっては結構早かったのでびっくりしました。(小5)
- 生まれたときくびがやわらかい、生まれてからすぐには走れないなどいろいろ学んだ。赤ちゃんは今私たちにできることができないんだと分かった。安全にだかなくてはいけなかった。(小5)

K-net ひろばやつどいの広場で体験しての感想

- 今回小さい子とふれ合ってみて思ったことは、子どもの力はすごいなと思いました。小さい子達を見ただけで眠けがふっとんで元気になりました。今回の経験を将来の夢の保育士に活用できるようにしたいです。本当に良い経験になりました。(中二)
- なかなかコロナの中でふれあうきっかけがなかったのでよかったです。小さい子とふれあってみて、たいへんな所もあったけれど、えがおしているのでたのしかった。(小5)

《**会員状況 2021.8.31 現在**》正会員 82 名・準会員 97 名・賛助会員 14 名（団体 2 名・個人 12 名）

◇2021 年度 3,000 円以上寄付者（あいうえお順）・・・ありがとうございました。

♥法人会員♥



新鮮こだわり中国料理

同心居



(株)関工務店



* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にぼち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちょう銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

| 7 月～8 月の動き | — これからの活動予定 — |
|---------------------------------|--|
| ○ピッコロ △K-net、つどいの広場 | ◆ファミサポ HS=ホームスタート HV=ホームビジター |
| 7/1(木)○主任会議(梅園学童クラブ) | 9/2(木)9:30～ 10:00～・11:00～ ○定例会(セミナーハウス) |
| 7/2(金)○定例会 | 9/3(金)9:30～ ○主任会議(四小学童クラブ) |
| 7/3(土)○ルーム職員会議(事務所) | 9/4(土)9:00～ ○ルーム職員会議(事務所) |
| 7/5(月)◆調整会議 | 9/6(月)9:15～ ◆調整会議(市役所) |
| △K-net 運営会議 | 9:30～△K-net 運営会議(事務所) |
| △つどいの広場調整会議 | 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) |
| 7/9(金) △K-net 子育てひろば | 9/8(水)9:30～ HS ホームビジター養成講座(～10/20) |
| 7/10(土)HS 関東エリア協議会オーガナイザー研修会 | (消費生活センター/中清戸地域センター) |
| 7/11(日)HS 関東エリア協議会総会 | 9/10(金)10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) |
| &オーガナイザー研修会 | 9/14(火)10:00～○学童クラブ児童報告会 |
| 7/13(火)◆3～4 か月健診(ファミサボ説明) | 12:00～◆3～4 か月健診(ファミサボ説明)健康センター |
| 7/14(水)△K-net 中里子育てひろば | 9/15(水)10:00～ OK-net 中里ひろば |
| 7/16(金)HS ホームビジター報告会&子育て講演会 | 9/28(火)K-net リフレッシュ講座 |
| △おんらいんしゃべりば@元町つどい | 10/1(金)10:00～△ K-net 子育てひろば(アイレック会議室) |
| 7/20(火)HSJ 学齢期ホームビジター | ◆保育サービス講習会開始(～10/26) |
| スキルアップ研修会 | 10/4(月)9:15～ ◆調整会議(市役所) |
| 7/29(木)△K-net ユニバーサル子育てひろば-養成講座 | 9:30～ △K-net 運営会議(事務所) |
| 7/30(金)△ K-net 子育てひろば | 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場) |
| ○東京都助成事業・第 6 回検討委員会 | 10/5(火)10:00～・11:00～ |
| 8/3(火) ○正会員のつどい | ○正会員のつどい(消費生活センター会議室 1・2) |
| 8/6(金) △ K-net 子育てひろば | 10/7(木)10:00～ ODD スキルアップ研修会 |
| 8/7(土) ◆スキルアップ研修会 | 10/12(火)13:00～◆3～4 か月健診(ファミサボ説明)健康センター |
| 8/10(火)◆3～4 か月健診(ファミサボ説明) | 10/13(水)10:00～△K-net 中里ひろば |
| 8/20(金)○責任者会議 | 10/18(月)11:00～△おんらいんしゃべりば@元町つどい |
| ○東京都助成事業・第 7 回検討委員会 | どうする?二人目の出産時 |
| | 10/19(火) 10:00～○責任者会議(けやきホール第 2 会議室) |
| | 10/22(金)10:00～ △ K-net 子育てひろば(アイレック会議室) |
| | 10/24(日)10:00～ △ K-net パパと遊ぼう!(アイレック会議室) |
| | 11/5(金)10:00～・11:00～ |
| | ○定例会(けやきホール第 3 会議室) |



《編集後記》

八月三十一日。夏休み最後の日。子どもが宿題終えず、焦っている。子ども時代を振り返った。育った東北は、八月二十日に夏休みが終わる。夏休みの始めは宿題を早く終えようと張り切るがその後は、安心してきり、盆の客がなくなくなる。一八日になつてたつぷりの宿題が残っているのに気づく。不思議と毎年同じパターンの夏だった。我が子の夏休みも同じだった。

日本財団助成金で作成したSNSのラインなどへ都外からの緊急なSOSが届き、急ぎ対応している。持続可能な開発目標(SDGs)は、当法人も役割を担う。

